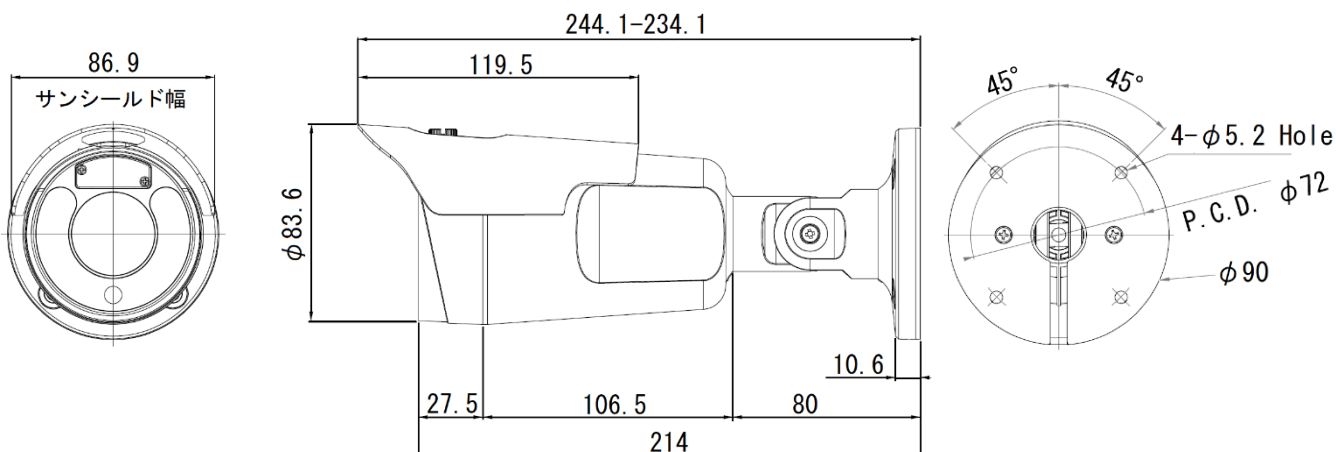


フル HD 屋外ハウジング一体型ネットワークカメラ施工基準書(第 2.4 版)

機種名 DC-T4233HRX、DC-T4233WRX、DC-T4236WRX、DC-T4236WRX-A

表記なき単位:mm

寸法図



- ※ サンシールド落下防止のため、取付ビスにネジロック剤の塗布を推奨します。
- ※ ケーブル類は絶縁処理、防水処理を確実に施すこと

重量

約 0.84kg

外壁施工例 1

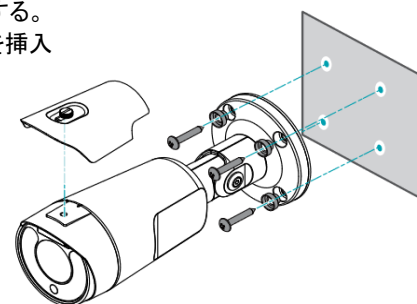
使用部材

- 設置用アンカー x 4 (付属)、固定ねじ x 4 (付属)
- または
- コンクリートビス x 4 (M4x25mm以上、ステンレス製、付属していません)

施工手順

1. 設置用アンカー(付属)を使用して取り付ける場合

- 1) サンシールドのネジ(付属)とリング(付属)を使い、サンシールドをカメラに固定する。
- 2) 設置面に設置用アンカーに対応した穴を 4 箇所あけ、設置用アンカー(付属)を挿入する。
- 3) 必要に応じて、ケーブル通線孔(直径 25 mm程度)をあける。
ケーブル通線孔をあけない場合は、ケーブル引き出し口を使用する。
- 4) 固定ねじ(付属)とブッシング(付属)を使い、接地面にカメラを固定する。
- 5) 水を抜くため下部は除いてカメラの周りにコーキングを行う。



2. コンクリートビス(付属していません)を使用して取り付ける場合

- 1) サンシールドのネジ(付属)とリング(付属)を使い、サンシールドをカメラに固定する。
- 2) 設置面に、コンクリートビスに対応した下穴を 4 箇所あける。
- 3) 必要に応じて、ケーブル通線孔(直径 25 mm程度)をあける。
ケーブル通線孔をあけない場合は、ケーブル引き出し口を使用する。
- 4) コンクリートビスとブッシング(付属)を使い、接地面にカメラを固定する。
- 5) 水を抜くため下部は除いてカメラの周りにコーキングを行う。

フル HD 屋外ハウジング一体型ネットワークカメラ施工基準書(第 2.4 版)

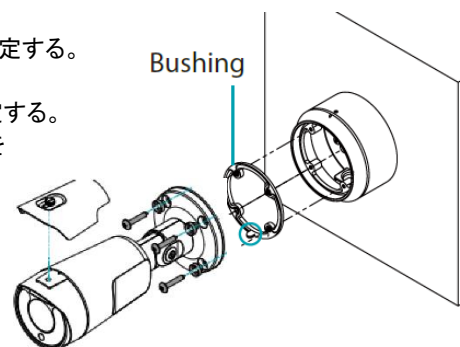
外壁施工例 2

使用部材

ジャンクションボックス x1 (別売)

施工手順

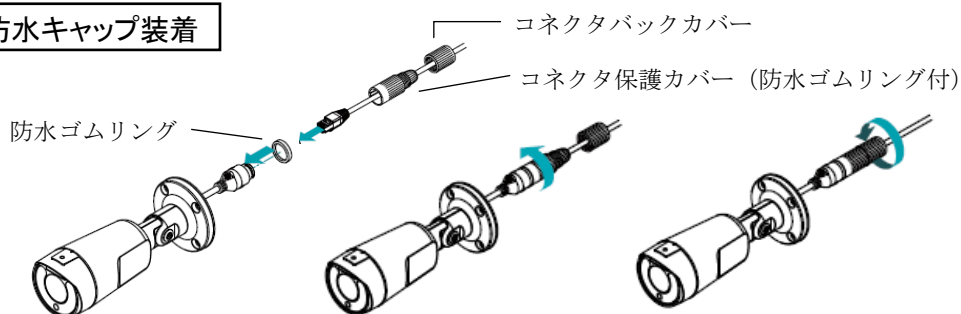
- 1) ジャンクションボックスの施工基準書を参照し、ジャンクションボックスを壁に固定する。
- 2) 壁からケーブル類を引き出す。
- 3) サンシールドのネジ(付属)とリング(付属)を使い、サンシールドをカメラに固定する。
- 4) 固定ねじ(ジャンクションボックス付属)を使い、ジャンクションボックスにカメラを固定する。



注意事項

1. 壁または天井の補強工事が必要かどうか確認すること。
2. カメラを直射日光のあたる場所に設置しないこと。
3. 余り線合めケーブル類は、絶縁処理および防水処理を確実に施すこと。
4. アクセサリの取付金具を使用する場合は、取付金具の施工基準書を参照すること。

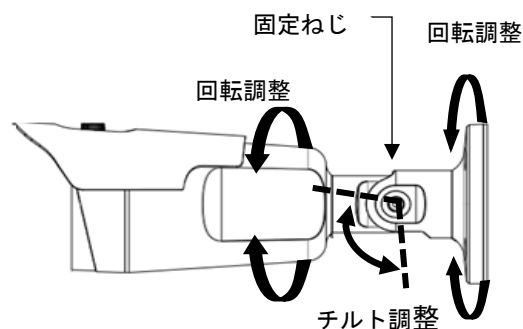
防水キャップ装着



1. 防水ゴムリング(付属)を RJ45 ジャックにはめる。
2. コネクタバックカバー(付属)とケーブル防水ゴムリング付きコネクタ保護カバー(付属)に LAN ケーブルを通す。
3. LAN ケーブルを RJ45 ジャックに接続する。
4. コネクタ保護カバー(付属)を RJ45 ジャックに押し回して取り付ける。
5. コネクタバックカバー(付属)をコネクタ保護カバー(付属)に回して閉める。

角度調整

1. 固定ねじを緩める。
2. ベース側・カメラ側の回転と、アームの曲がり度で角度を調整する。
3. 固定ねじを締める。



注意事項

1. 回転しない場合は、固定ねじを取り外し、アーム部分を割り広げて調整すること。
2. パン方向(水平方向)にカメラを向けたい場合は、台座部分を回転調整すること。

問合せ先 : 株式会社セキュア セールスエンジニアリング課
03-6911-0660